令和5年7月20日

Team21

第 24 号

兵庫県立加古川南高等学校 21 期生 年次通信

「目的」を意識しよう　　4組担任

文化祭では、「さすが3年次生！」という演劇を披露してくれましたね。どんなジャンルで攻めようか、どこにどんな台詞・仕掛けを作ろうか、……と試行錯誤したことと思います。そんな経験から、みなさんは何を学びましたか。コミュニケーションの大切さ？積極性？計画性？――それらはもちろんのこと、私は「目的意識」の大切さも実感してくれたらと思っています。

どんな題材で誰を配し……という「手段」にばかり意識が向きがちですが、そこに「何のために」という「目的」がなければ、観客の心に残るものを生み出すことはできません。また、「自分の行動・役割が劇の中でどう活きるのか」を考えることができないため、意欲も生まれません。

課題研究も同じでしたね。また、社会に出てからも同じです。

さて、1学期が終わろうとしています。夏休みには三者面談がありますが、「どの大学を」「どの入試形態で」という「手段」を調べることはもちろん大切なのですが、「何のために」その大学で学びたいのか、卒業後どんな人間になっていたいのか、社会にどう貢献していきたいのか……という「目的」についても併せて考えて欲しいと思っています。自分の選択・行動に、意味を持たせましょう。ENAGEED で学習した「意志ある目的」を持ちましょう。

1学期を振り返る（その1）

南楠祭　～おかえり青春　マスクとさよなら～　クラス劇編

1 組

私は今年初めて HR 委員になりました。クラスの前に立ってみんなに指示を出すことはすごく難しかったです。クラスのみんなの協力のおかげでとても良い劇になりました。高校生活最後の南楠祭でしたが、他のクラスの劇もレベルが高く、文化部のステージもとても盛り上がり、本当に楽しかったです。この南楠祭での団結力を次の体育大会に活かしたいです。

2組

脚本・監督をすることになり最初は不安でしたが、配役が決まり、練習や準備が進んでいくうちに、クラスの皆が積極的に参加してくれるようになり、ステージを完成させるのが楽しみになっていきました。作業が進むにつれて面白くなっていき、先生からも「ここウケるよ」などと言ってもらいながら、内容が濃くなっていくのを実感して嬉しくなりました。クラスの皆や出演してくださった先生方の協力のおかげで優勝することができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

3組

高校最後の南楠祭が終わって達成感と疲労感に覆われています。南楠祭の準備が始まって、武器や衣装のデザイン等を工夫するのが大変でした。演出では観客席からの見えやすさにも配慮するなど、演劇に出演する人達とも相談しながら作業を進めていきました。今回の南楠祭を通して、一つの観点からではなく、様々な観点から考えることが大切だと思いました。

4組

私が今回学んだことは、コミュニケーションをとることの大切さです。準備期間の最初の頃は、役割があるのに帰ってしまう人がいたりして、今何がどのくらい進んでいるのかを把握しにくくて困ってしまいました。ですが、私や友達、先生からみんなへコミュニケーションをとり始めると、「みんなで劇を頑張って作り上げよう!」という雰囲気になり、準備も仲も一体感も良くなっていきました。監督になって本当に良かったです!

5組

時代劇は衣装やセットをそろえることが難しいので心配していましたが、クラスメイトや先生方の協力のおかげで無事に時代劇として成立させることができました。私は最初「大根役者」と言われるほど演技が下手くそでしたが、いろんな人が練習に付き合ってくれて、応援してくれて、みんなで帰蝶を作り上げてくれました。文化祭前日に初めて通し、約10分間削らないといけないというハプニングでたくさんの変更があったにもかかわらず、当日はみんなが完璧に仕上げてくれました。結果は惜しくも2位でしたが、みんなで頑張ってきたことが評価されてとても嬉しかったです。人生最後の文化祭は最高なものになりました。